

グランドチャンピオン受賞!

第40回熊本県畜産共進会

熊本県家畜市場で第40回熊本県畜産共進会が行われました。町からは、肉用種牛の部に帆保新次さん(下町)、村山光弘さん(矢護川)、緒方恭三さん(外牧)、大津實さん(矢護川)の4農家から出品がされ、優秀な成績を収めました。その中でも、村山光弘さんの出品した黒毛和種が見事にグランドチャンピオンを受賞しました。同日に行われた飼料作物の部門では赤星典太さん(錦野)が出品され優秀な成績を収めました。



グランドチャンピオンを獲得した村山光弘さんと出品の「ただなみ号」

大津北中学校が県大会に出場

第42回菊池郡市英語暗唱大会

菊池郡市英語暗唱大会が10月22日、大津町生涯学習センター文化ホールで開催され、大津北中学校1年生と3年生が1位という素晴らしい成績を収め、菊池郡市の代表として11月10日に行われた県大会に出場しました。出場する生徒たちは、昼休みや放課後に英語の先生や外国語講師(A L T)から指導を受けながら練習を重ね、県大会に挑みました。



生徒たちの努力が実りました

秋晴れで大にぎわい

第17回福祉まつり

第17回福祉まつりがオクスプラザ周辺を会場に開催されました。10月18日、当日は約4,000人が来場し、福祉への理解を深めました。会場ではバザーやステージ発表が行われ、たくさんの来場者を楽しませていました。晴天にも恵まれ、さまざまな催し物のなか、大人から子どもまで笑顔の絶えない楽しいお祭りになりました。



飲食店のコーナーは今年もたくさんの列ができていました

地域と子どもと教育を考える

大津まちおこし大学事業提案会

町交流会館で、大津まちおこし大学実践研究科の事業提案会が10月13日に開催されました。受講生である町民11人が、これまで1年間学んだ内容を活かし、自分たちで取り組む6件の事業について、思いのこもったプレゼンテーションを行いました。事業審査委員からの質疑や助言もあり、採択された事業は町が支援し、3月までの間に実践活動を行います。



新たなからいも掘り体験やアプリ開発など事業提案は個性豊かなものとなりました

お米が立派に育ちました

田んぼの学校in白川中流域

町外牧地区で10月24日に白川中流域水土里ネット協議会の主催で田んぼの学校in白川中流域が行われました。これは、白川中流域の県や熊本市、菊陽町、教育委員会、JA菊池、水土里ネット熊本が共催して毎年開催しており、稲作を通して地下水かん養を体験学習してもらうものです。今回の稲刈りには熊本市内の小学生とその保護者が参加し、使い慣れない鎌を使って丁寧に刈り取っていました。稲刈りの後は、昔の農機具体験や岩戸の里でのバーベキューなどを行いました。



初めての石臼に苦戦しながら大豆をひいていました

子どもたちの笑顔が集まる

大津町おはなしフェスタ

おはなしフェスタが、10月24日におおづ図書館で開催されました。これは「大津町本とお話の会」が毎年行っているもので今年で7回目。人形劇や読み聞かせなどが行われ、子どもたちが本に慣れ親しむためのイベントとなりました。他にも図書館の中には子どもたちの作品展示なども行われていました。

参加した子どもは「知らない話が聞けて楽しかった」と目を輝かせていました。



人形劇は子どもたちの笑いがたえないものになりました

町下水道施設に海外から初の視察団

インドネシアから下水道の取り組みを視察

熊本県立大学などの協力によるJICA(国際協力機構)の地域づくりプロジェクトで、インドネシア共和国の南ジャカルタ市(ジャカルタ首都特別州に位置し、人口200万人)の市長をはじめ、同市のユニバーシタス・ナショナル大学の教授ら6人の皆さんが大津町(下水道)浄化センターを視察しました。

同市では行政と地域住民、大学が連携して河川浄化に向けた取り組みを行っているそうです。



下水道処理システムの見学をする視察団の皆さん

真木地区で地下水かん養を推進

真木地区での湛水事業に関する協定調印式

(株)もやいネット真木(吉良登美雄代表取締役)、(公財)くまもと地下水財団(理事長:大西一史熊本市長)、町の3者で、10月19日に、真木地区での湛水事業に関する協定の調印式が行われました。冬期の田んぼに水張りを行い、熊本地域の生活用水である地下水の確保につなげる取組みで、2年にわたる試験事業後、今年から協力農家数や水田面積が増え、本格的に事業を行うことになり、協定を締結することになりました。



左から徳永大津町副町長、大西熊本市長、吉良代表取締役、坂本孝広県環境生活部環境局長